

アウトドア入門編

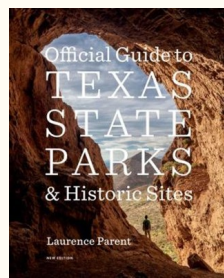
うだるような夏も終わりに近づき、そろそろ屋外でも過ごしやすくなってきました。ということで、今回はアウトドア活動について、計画、準備、実行の3段階に分けて紹介します。

計画・どこに行こうか

アウトドア活動と言っても内容は様々で、何をしたいかによって行き先も変わってきます。文明の及ばない大自然を堪能するというのもアウトドアの醍醐味ですが、初心者にはちょっとハードルが高いというのも事実。そこで今回オススメしたいのがState Parkです。その名の通り公園ですのでコンセントや水道もあり、共同のトイレやシャワーもあるので比較的軽い装備で出かけることができます。

テキサスに数あるState Parkの中でも特にオススメなのがBrazos Bend State Parkです。ヒューストンからも車で1時間かからないほど近くにありますがワニをはじめとする様々な動物を見ることができます。但しあまりに人気スポットなので繁忙期はテントの場所の予約が何ヶ月も前から埋まってしまうとか。日帰りなら予約不要なので最初は日帰りから始めるのがよさそうです。

逆にながつり遠出して宿泊もしたいとなるとBig Bend Ranch State ParkやPalo Duro Canyon State Park, Caprock Canyons State Parkなどがあります。地図を見てもらえば分かるようにヒューストンからはかなり遠く、都会の喧噪を離れ自然と触れ合うのにはよさそうです。宿泊キャンプで特にオススメしたいのはCaddo Lake State Park(写真上・右)。息を呑む風景が魅力で、Swamp Tourを逃す手はありません。この他テキサス州内のState ParkについてはOfficial



Guide to TEXAS STATE PARKS and Historic Sitesなどのガイド本が参考になります。Amazonなどオンラインでも購入できますが、この手の本は書店で実際に手に取って中身を確認した方がハズレがなくて安全です。

上級者向けですがState Parkに限らずもっとガッツリ情報を集めたい場合はTexas HighwayやTexas Parks & Wildlifeなどの月刊誌を定期購読するという手もあります。

Webサイトでは[テキサス観光](#)もご覧ください。

準備・行くまでに何をすればいい？

アウトドアとなればそれなりに道具を揃える必要があります。テキサスでも春秋の夜明けは冷えますし宿泊キャンプをするなら寝袋やマットは必要です。ただ冬でも寒さには限度があるので安いテントでも大丈夫。夏場だとハンモックという手がありますが背中から蚊に襲われたりするので虫除け対策を忘れてはいけません。

その他、雨具を兼ねたウィンドブレーカーや日よけになる長袖のラッシュガードなどがあると心強いです。日焼け止めクリームと虫除けも必携です。アウトドアとなると携帯の圏外になることも多いのでGPS付腕時計など

で位置を把握できるようにしておく安心です。

食事についてはどうでしょう。State Parkでは上述の通り、各テントサイトにコンセントもあるので炊飯器を持ち込んでご飯を炊くこともできますが、食材や飲み物を運ぶのにクーラーボックスは必携です。一方でメインのキャンプご飯以外にビーフジャーキーやお菓子、カップ麺などの手軽に食べられるものも準備しておきたいところです。夕食はガッツリお肉を焼くとして、帰途につく翌日の昼ご飯などはさっと済ませられるものがあると便利です。また飲料用の缶クーラーも保温力が高く重宝します。

さて、こうしたキャンプ道具をどこで揃えたいでしょうか。もちろんAMAZONでも買えますが、実店舗で物を確認したい場合はAcademyやBass Pro Shop, Walmartで揃えられます。ちょっと高級志向の良いものとなるとREIがオススメです。但しREIでは釣り道具は売っていませんのでご注意ください。

物が揃ったら当日を待つばかりですが、お天気のチェックは欠かせません。カヤックなどの水場のレジャーを予定している場合は水量なども確認しておきたいところです。またGoogle Mapなどを利用して駐車場の位置などを事前に確認しておくといでしょう。

実行・いざ当日

準備がしっかりできていれば後は現地へ行って楽しむだけなのですが、大事なのは余裕をもって行動することです。週末などの限られた時間にキャンプ旅行をするとすると、あれもこれもと詰め込みたくなりがちですが、過密スケジュールはトラブルの元です。特にお子さんと一緒に行く場合には予定外のイベントにそなえて計画にフレキシビリティを持たせておきましょう。

それとクーラーボックスですが、保冷剤を入れずに500mlのお茶や水のペットボトルを凍らせてお肉やその他飲料と一緒にしておく効率的に使うことができます。

テキサスは日本と比べて規制が緩いので、とにかくアウトドアを楽しむのに向いています。またアメリカには日本では決して見ることでできない風景がたくさんありますので、是非ヒューストンにいらっしゃるうちにあちこち訪ねてみてください。

キャンプ上級者への道

ここまで入門者向けとして主にState Parkでのキャンプを念頭に紹介してきましたが、何度かキャンプを重ねるとState Parkでは物足りないと感じる人も出てくるでしょう。ただ、State Park以外で注意しないといけないのが土地の所有権です。テキサス州では誰も住んでいないように見える大自然であっても実は誰かの所有地だったりします。トラブルを避けるためにも計画段階でよく確認しておく必要があります。

そこをクリアすれば、あとは大自然を自由に楽しむことができます。釣りをしたり写真を撮ったり、ビールを片手に読書をしたり。よりディープなアウトドアをぜひお楽しみください。(編集部 取材協力・写真提供：清水直樹)